



藤沢市議会議員

わき

脇 れい子

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

人が
活きる
まち!!

2018年秋-1号 だより



ホームページ <http://wakireiko.jp/> E-mail : reich0513@yahoo.co.jp

討議資料 発行・脇れい子と手をつなぐ会 〒251-0047 藤沢市辻堂 5-20-11 Tel/Fax . 0466-35-0762

私たちの願いを県政に反映させます！

来春の統一自治体選挙 立憲民主党公認で神奈川県議会に挑戦

候補者男女均等法ともいわれる「政治分野における男女共同参画推進法」が5月23日に公布、施行されました。もちろん法が成立したことで、すぐに女性議員が増えるわけではありませんが、女性の政治参加がなかなか進まない中で、理念法ではありますがこの法が制定されたことは意義があります。政策決定の場に女性が多く参画することで、男性優位社会の中で進められる政策に歯止めをかけることができます。私は、格差が拡大している社会の中で、困難を抱えている人たちに寄り添い、その声を救い上げ、課題解決に取り組んでいきたいと思います。多様な個性や価値観が認められ、基本的人権が尊重される「共に生きる社会」の実現に向け、県会で尽力します。



《講演会のご案内》

格差と圧力にどう立ち向かうか

～誰もが尊重される社会へ～

講師：本田 由紀さん（社会教育学者）

日時：10月13日(土) 13時30分～15時30分

会場：藤沢商工会館ミナパーク 3階(302、303)

参加費：500円 主催：脇れい子と手をつなぐ会



一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所がある「共に生きる社会」の実現に向け、当事者の声、市民の声、皆さんの思いを県政につなげていきます。
藤沢市政の充実のために頑張ります。

沖縄に次ぐ第2の基地県として、静かな空を取りもどすためにも日米地位協定の抜本的な改定を求めています

すべての子どもたちが同じスタートラインに立って、豊かに学び育つ環境づくりをすすめます

障がいのある無しに関わらず、また高齢になっても、誰もが住み慣れた地で自分らしく、尊厳をもった暮らしが続けられる社会を目指します

働く者の立場から、特に保育・教育、医療・介護分野の待遇改善に積極的に取り組めます

性暴力被害者の心と体を守るために適切な支援ができる体制をつくります

私たちの知る権利を保障する情報公開を積極的に行い、より開かれた議会にしていきます

総合防災チームを作り、地震、津波、豪雨被害対策など、いのちを守る取り組みを強化します

§ 性暴力被害者支援について §

国は性暴力被害者支援のためのワンストップ支援センターを2020年までに各都道府県に最低1ヶ所設けることを目標に掲げ取り組んでいます。ワンストップ支援センターは、性犯罪・性暴力被害者に対し、被害直後から、*医師による心身の治療 *相談・カウンセリング等の心理的支援 *捜査関連の支援 *法的支援などの総合的な支援を可能な限り一か所で提供するとしています。

神奈川県は「かならいん」として開設。24時間365日の電話相談、予約制による面接相談を中心に、必要に応じて医療機関受診や法律相談、付添い支援などを行う病院連携型です。被害者支援で大切なことは、被害者の尊厳を守り、被害直後からの適切な支援が行われることだと思います。神奈川県では神奈川県産科婦人科医会を通じて協定を結び、病院との連携を図っていますが、医療機関の被害者支援については、初期対応が重要ですし、二次被害を招くことなく支援が行われるよう、県はしっかりと取り組むべきだと思います。そのためにも立憲民主党が求めている「性暴力被害者支援法」の制定が必要ではないでしょうか。

藤沢市議会議員

臨れい子

☆経歴
1957年辻堂生まれ
藤沢市立高砂小学校卒
藤沢市立湘洋中学校卒
神奈川県立平塚江南高等学校卒
日本女子大学文学部史学科卒

☆現在
立憲民主党公認
藤沢市議会議員2期目(民主クラブ)
女性会議神奈川県本部 議長
全国フェミニスト議員連盟 事務局
自治体議員立憲ネットワーク 会員

厚生環境常任委員会委員長(2013、2015、2016年度)
決算特別委員会副委員長(2014年度)
議会運営委員会副委員長(2015年度)
決算特別委員会委員長(2016年度)
総務常任委員会委員長(2017年度)

